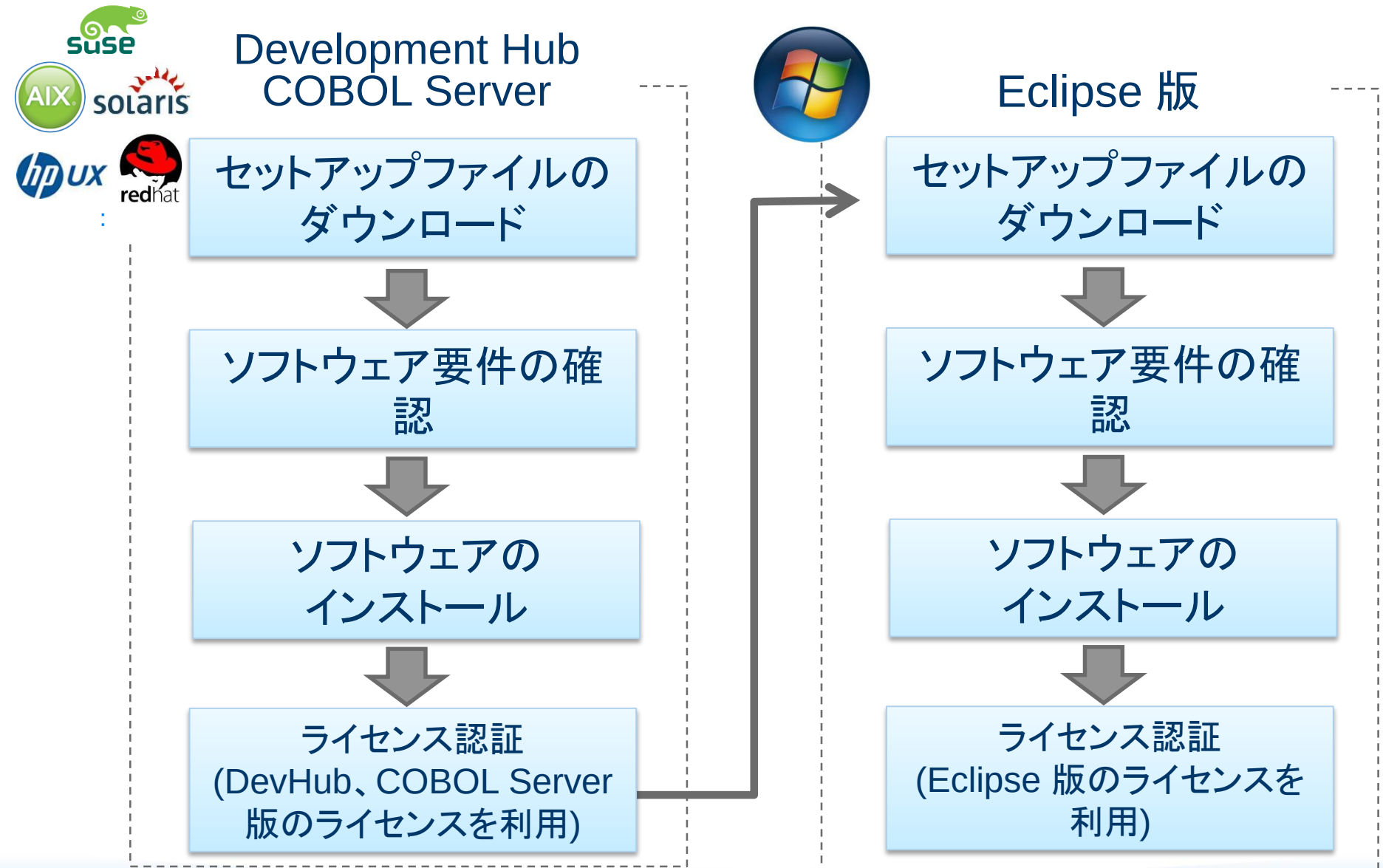


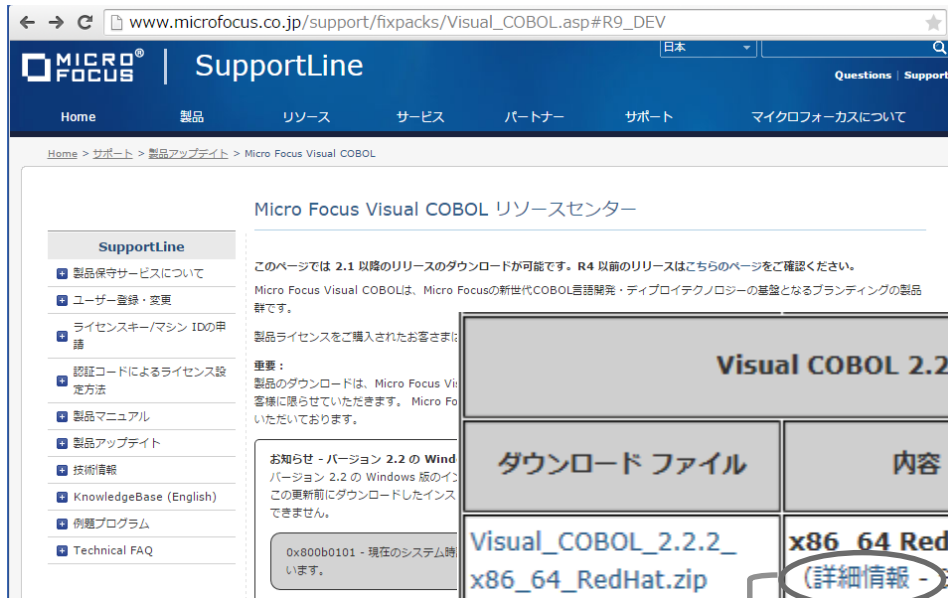
ソフトウェアのインストール



セットアップファイルのダウンロード

納品物に同梱された案内書に従ってVisual COBOLリソースセンターから選択したコンポーネントに適合するファイルをダウンロード

http://www.microfocus.co.jp/support/fixpacks/Visual_COBOL.asp#R9_DEV



X64/x86 Linux 版の例

※同版のみ RedHat 版と SUSE 版、2種類のインストーラが提供されており、適切なインストーラを選択しダウンロード

Visual COBOL 2.2J for x64/x86 Linux - バージョン 2.2 Update 2			
ダウンロード ファイル	内容 (「詳細情報」をクリックして下さい)	サイズ (バイト)	登録日付
Visual_COBOL_2.2.2_x86_64_RedHat.zip	x86_64 RedHat (詳細情報 - システム要件・インストール方法等)	147,699,839	2014/11/18
Visual_COBOL_2.2.2_x86_64_SUSE.zip	x86_64 SUSE (詳細情報 - システム要件・インストール方法等)	148,796,910	2014/11/18
Visual_COBOL_2.2.2_Windows_EclipseIDE.zip	Windows Visual COBOL for Eclipse(Eclipse IDE) (詳細情報 - システム要件・インストール方法等)	855,803,962	2014/11/18

Readmeを一読

Readme は Development Hub、Eclipse 版共通

ソフトウェア要件の確認

Readme 抜粋

ソフトウェア要件

次のソフトウェアを事前にインストールしておく必要があります。

- pax アーカイブユーティリティがセットアップの実行で使用されています。ほぼすべての Linux/Unix システムで提供されているものですが、もしない場合は、別途インストールする必要があります。インストールされているかを確認するには、コマンドプロンプトから `pax --help` または `pax --version` を実行します。
- Red Hat 6.x および Red Hat 7 では、インストールを実行する前に、以下の OS のパッケージをインストールする必要があります：
 - `glibc-*.i686`
 - `glibc-*.x86_64`
 - `glibc-devel-*.i686`
 - `glibc-devel-*.x86_64`
 - `libgcc-*.i686`
 - `libgcc-*.x86_64`
 - `libstdc++-*.i686`
 - `libstdc++-*.x86_64`

- **Readme に記載された必須ソフトウェアを事前インストール**
- **Readme 中に記載された要件は一般的な開発サーバを想定しており、それらに含まれる基本パッケージはリストされていません。それらが足りない場合はインストーラがその旨の情報を返します。**
- **Shell.pm を含む Perl をインストール(リモート開発では Shell.pm を含む Perl が必要となります。Red Hat 7 等にデフォルトで入っている 5.16 には同ファイルは入っていないようです。)**
- **リモート開発時に日本語でコンソール入出力をする際は kterm をインストールして TERM 環境変数に「kterm」を指定**

ソフトウェアのインストール(開発環境編)

ダウンロードしたファイルを解凍
購入したターゲット環境に適合したインストーラ を実行

コンポーネントタイプ	インストーラ名
DevHub – AIX 版	setup_entdev_2.2_update2_aix_systemp
DevHub – 390 RedHat 版	setup_entdev_2.2_update2_redhat_systemz
DevHub – 390 SUSE 版	setup_entdev_2.2_update2_suse_systemz
DevHub – x64/x86 Solaris 版	setup_visualcobol_devhub_2.2_update2_sunos_x86_64
DevHub – HP-UX 版	setup_entdev_2.2_update2_hp-ux_itanium
DevHub – SPARC Solaris 版	setup_entdev_2.2_update2_sunos_sparc
DevHub – x64/x86 RedHat 版	setup_entdev_2.2_update2_redhat_x86_64
DevHub – x64/x86 SUSE 版	setup_entdev_2.2_update2_suse_x86_64
Eclipse 版	ede_222.exe

ソフトウェアのインストール(実行環境編)

ダウンロードしたファイルを解凍
購入したターゲット環境に適合したインストーラ を実行

製品タイプ	インストーラ名
COBOL Server – AIX 版	setup_cobol_server_2.2_update2_aix_systemp
COBOL Server – 390 RedHat 版	setup_cobol_server_2.2_update2_redhat_systemz
COBOL Server – 390 SUSE 版	setup_cobol_server_2.2_update2_suse_systemz
COBOL Server – x64/x86 Solaris 版	setup_cobol_server_2.2_update2_sunos_x86_64
COBOL Server – HP-UX 版	setup_cobol_server_2.2_update2_hp-ux_itanium
COBOL Server – SPARC Solaris 版	setup_cobol_server_2.2_update2_sunos_sparc
COBOL Server – x64/x86 RedHat 版	setup_cobol_server_2.2_update2_redhat_x86_64
COBOL Server – x64/x86 SUSE 版	setup_cobol_server_2.2_update2_suse_x86_64

ライセンス認証

- **ライセンス認証の仕組み**
 - **ライセンスマネージャ**
ソフトウェアとともにインストールされるライセンス管理専用のソフトウェア
コンピュータ上で認証されたソフトウェアの実行を許諾する
 - **ライセンスサーバー**
弊社が出荷したライセンスの認証状態を管理するWebサービスのサーバー
弊社でホストし、お客様はインターネット経由で自動・手動でアクセスする
 - インストールしたコンピュータがインターネットに接続されている場合は自動アクセス (オンライン認証)
 - インストールしたコンピュータがインターネットに接続されていない場合は手動アクセス (マニュアル認証)
 - **認証コード**
製品パッケージに同梱されて出荷される 16桁の英数字文字列
ソフトウェアをインストールしたコンピュータで製品を認証するのに使用する
 - **認証用シリアル番号**
製品パッケージに同梱されて出荷される 12桁の数字 (6000で始まる)
弊社認証するライセンスを識別するのに使用するコード

オンライン認証(DevHub, COBOL Server) - 1

※インストールしたコンピュータがインターネットに接続されている場合

手順概要

I. スーパーユーザ権限でライセンス管理システムが格納されたディレクトリへ移動

```
# cd /var/microfocuslicensing/bin  
#
```

II. ライセンス管理ツールを起動

```
# sh ./cesadmintool.sh
```

ツール起動後の画面イメージ:

```
[root@ym-rhel65-64 bin]# sh ./cesadmintool.sh  
  
Micro Focus ライセンス 管理  
=====
```

[2015/06/02 13:44:04] v10000.2.01900

Micro Focus ライセンス 管理ユーティリティによるこ
次のメニューからオプションを選択してください。

1. オンライン 認証
2. ライセンス ステータスの 確認
3. 高度な 構成オプション
4. マニュアルライセンスインストール
5. ライセンスのアンインストール
6. マシン IDの 取得
7. ライセンスのチェックアウト・チェックイン
8. ライセンス 詳細を 取得

99. 終了

オプションの入力: █

オンライン認証(DevHub, COBOL Server) - 2

手順概要(続き)

III. [オプションの入力] 欄にて「1」(オンライン認証) を入力し、Enter を打鍵

99. 終了

オプションの入力: 1

IV. 適切な認証コードを入力し Enter を打鍵

オプションの入力: 1
認証...
マイクロフォーカスから提供される 16 桁の認証コードを使います。
16 桁の認証コードを入力するか、<改行>で中断してください :

プロンプト位置

認証イメージ:

```
16 桁の認証コードを入力するか、<改行>で中断してください : 
認証サーバーに接続中...
ライセンス取得中...
インストール中..... ライセンスインストール完了
ライセンスインストール完了
<改行を押してメニューに戻る>
```

V. [オプションの入力] 欄にて「1」(オンライン認証) を入力し、Enter を打鍵しツールを終了

マニュアル認証(DevHub, COBOL Server) - 1

詳細な手順説明が

http://www.microfocus.co.jp/support/fixpacks/SafeNet_U_R7.html#002
にあります。

※インストールしたコンピュータがインターネットに接続されていない場合 手順概要

I. スーパーユーザ権限でライセンス管理システムが格納されたディレクトリへ移動

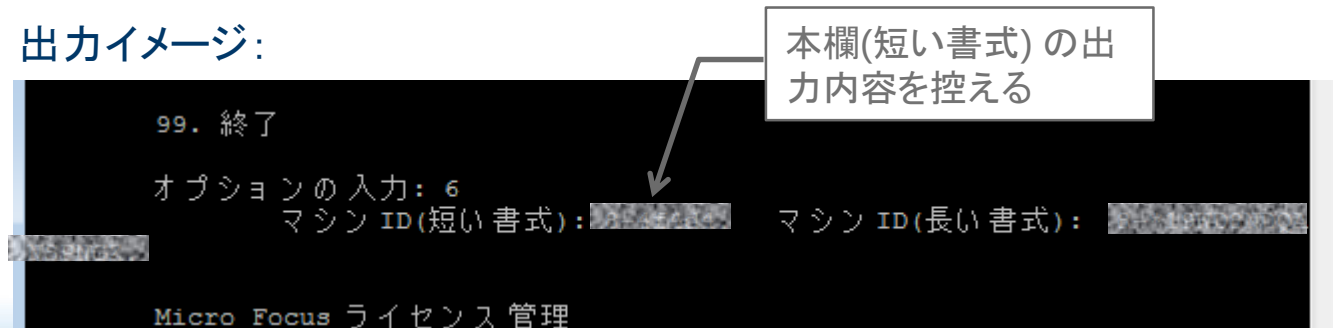
```
# cd /var/microfocuslicensing/bin  
#
```

II. ライセンス管理ツールを起動

```
# sh ./cesadmintool.sh
```

III. [オプションの入力] 欄にて「6」(マシン IDの取得) を入力し、Enter を打鍵しマシン ID を取得

出力イメージ:



マニュアル認証(DevHub, COBOL Server) - 2

IV. マニュアル認証用のライセンス文字列を取得

インターネットに接続されている環境に移動し、Webブラウザで
<http://supportline.microfocus.com/activation/>
を開き、下記要領でライセンス文字列を取得

Manual product authorization

Please enter your authorization code and the machine ID in order to obtain the license string(s) you will need to manually authorize your product installation. If you wish for the string(s) to be sent to you, enter your e-mail address in the appropriate field.

Authorization Code: 16 digit string printed on card provided within product packaging or sent via e-mail.

Machine ID: This is the machine identification string (the **old** style machine ID, in form of x-12345) that is obtained via Options/ Machine ID Selector in your license administration tool on Windows or when you select Get Machine Id on UNIX/Linux.

Email Address: This is the address to which the license string(s) will be sent.

Press the Generate button to obtain your license string(s).

Generate

ボタンをクリック

マニュアル認証用のフォームの[License string(s)] 欄にライセンス文字列が表示される

この文字列を漏れなくコピーしてテキストファイルとして保存する (例えば license_string.txt)

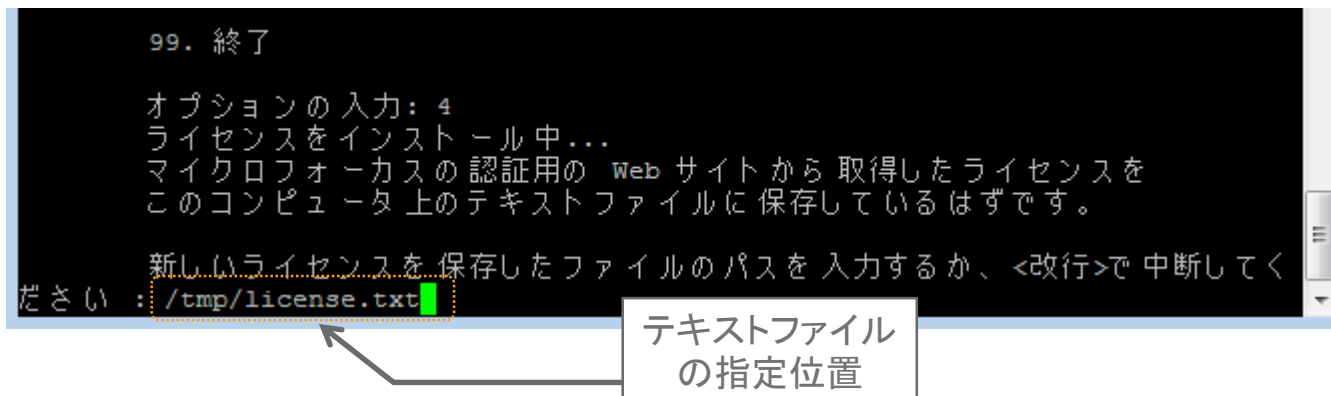
マニュアル認証(DevHub, COBOL Server) - 3

- V. IV で取得したテキストファイルをインストールターゲットの UNIX/Linux マシンへファイル転送
- VI. ライセンス管理ツールを起動

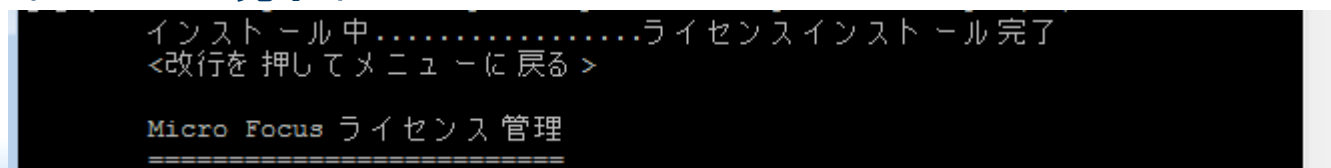
```
# sh ./cesadmintool.sh
```

- VII. [オプションの入力] 欄にて「4」(マニュアルライセンスインストール) を入力し、Enter を打鍵
- VIII. プロンプトに V で転送したライセンス文字列が記載されたテキストファイルをフルパスで指定し、Enter を打鍵

入力イメージ:

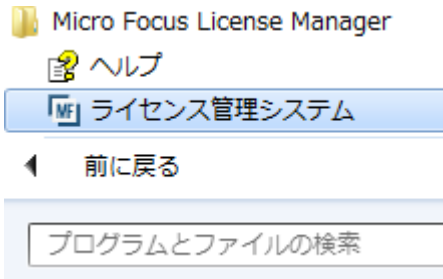


インストール完了イメージ:

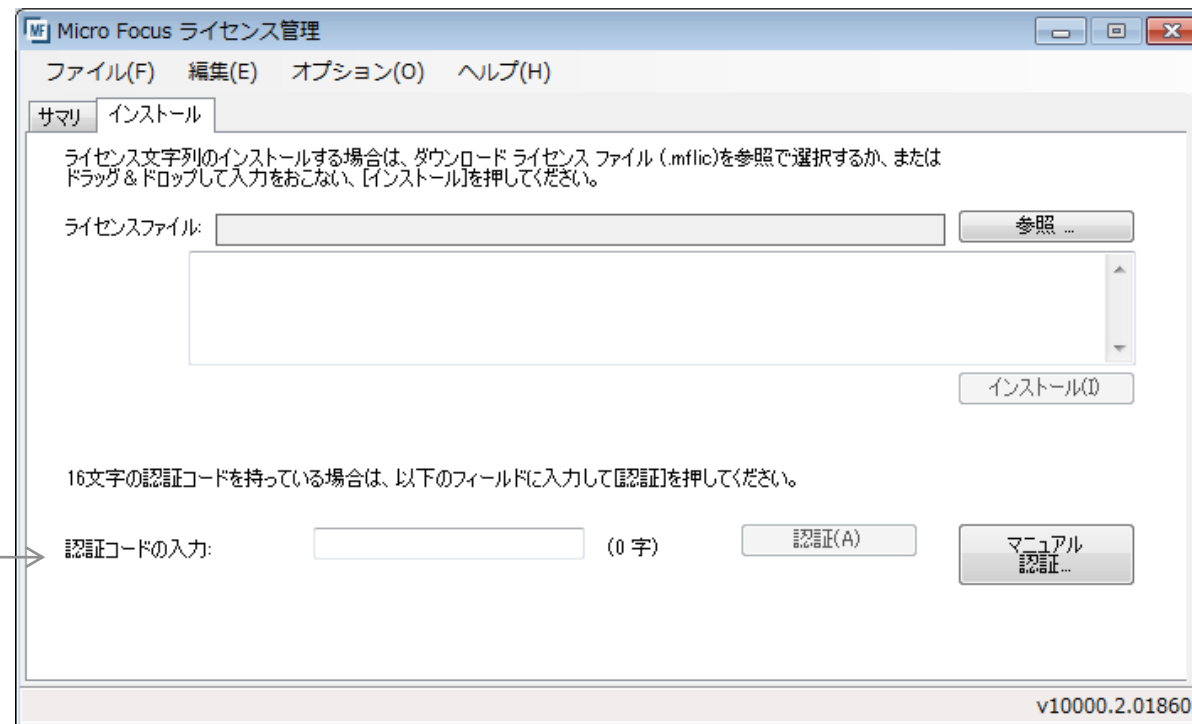


オンライン認証(Eclipse 版)

- ・ インストールしたコンピュータがインターネットに接続されている場合
- ・ Windowsスタートメニューから「ライセンス管理システム」を起動



出荷された認証コードを入力

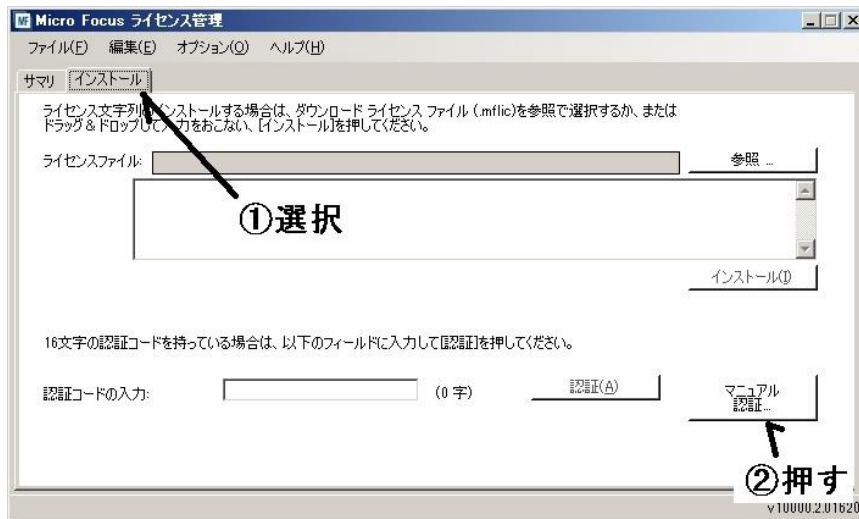


マニュアル認証(Eclipse 版) - 1

詳細な手順説明が

http://www.microfocus.co.jp/support/fixpacks/SafeNet_W_R7.html#002にあります。

- ・ インストールしたコンピュータがインターネットに接続されていない場合
- ・ Windowsスタートメニューから「ライセンス管理システム」を起動
- ・ [インストール] タブで [マニュアル認証] ボタンをクリック



- ・ コンピュータを識別する「マシンID」が表示される



- ・ 表示された「マシンID」をコピー・ペーストして保持

マニュアル認証(Eclipse 版) - 2

- インターネットに接続されている環境に移動し、Webブラウザで <http://supportline.microfocus.com/activation/> を開く

Manual product authorization

Please enter your authorization code and the machine ID in order to obtain the license string(s) you will need to manually authorize your product installation. If you wish for the string(s) to be sent to you, enter your e-mail address in the appropriate field.

Authorization Code: 16 digit string printed on card provided within product packaging or sent via e-mail.

Machine ID: This is the machine identification string (the **old** style machine ID, in form of x-12345) that is obtained via Options/ Machine ID Selector in your license administration tool on Windows or when you select Get Machine Id on UNIX/Linux.

Email Address: This is the address to which the license string(s) will be sent.

Press the Generate button to obtain your license string(s).

Generate

ボタンをクリック

マニュアル認証用のフォームの[License string(s)] 欄にライセンス文字列が表示される

この文字列を漏れなくコピーしてテキストファイルとして保存する (例えば license_string.txt)

マニュアル認証(Eclipse 版) - 3

- ソフトウェアをインストールしたコンピュータにライセンス文字列をコピー保存したテキストファイルをファイルコピー
- Windowsスタートメニューから「ライセンス管理システム」を起動
- [インストール] タブでライセンス文字列を保存したファイルを入力

